



この問題解けるかな？
大阪府の小学生が
挑んだわくわく問題です！

- (2) たかしさんは、ミニカーで遊んだあと、実際に人が使うため開発が進む「自動で動く車」について調べ、次の資料1を見つけました。

資料1 【「自動で動く車」の分類について】

「自動で動く車」は、運転の一部を車が助けてくれる「運転を支援する車」と、すべての運転を車が行う「自動運転車」の大きく2つに分かれます。

		内 容
自動で動く車	運転を支援する車	アクセル※、ブレーキ、ハンドル操作のうち、一つまたは、複数を車が行う。 【例】 ・前の車にぶつかりそうなときにブレーキ操作を自動で行う。 ・高速道路で、車線の中央を走るようにハンドル操作を自動で行う。 ・高速道路で、一定の速さで走るようにアクセル操作を自動で行う。
	自動運転車	すべての運転を車が行う。 ただし、高速道路など特定の場所でしか自動運転ができないなどの条件がある車もある。

※アクセル…ペダルをふむと車が加速する装置。

次のページに
続くよ。



次に、たかしさんは、「自動で動く車」が日本でどのくらい作られているのかを調べ、次の資料2を見つけました。

資料2 【日本で一年間に生産される「自動で動く車」の台数】

	2015年	2019年	2025年 (予想)	2030年 (予想)
運転を支援する車	265万台	535万台	886万台	756万台
自動運転車	0台	0台	4万台	83万台

(富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査」により作成)

問い 資料1、資料2からわかることとして正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

ア 「自動で動く車」は、2015年には生産されていない。

イ 「自動で動く車」の生産台数は、2019年と比べると2030年は、304万台増えることが予想される。

ウ 「運転を支援する車」の生産台数は、2015年と比べると2030年は、3倍以上増えると予想される。

エ 2025年と2030年の予想生産台数を比べると、「運転を支援する車」は増えるが、「自動運転車」は減る。

10人に1人しか正解していないんだね。

答えは最後のページにあるよ



	正答率
枚方市	9.6
大阪府	9.9

令和3年度から始まった 「大阪府独自の学力テスト」

	わくわく問題	国語	算数	理科	質問紙調査
5年生	○	○	○	○	○
6年生	○	×	×	×	○

5年生は**国語・算数・理科・わくわく問題**が
6年生は**わくわく問題**があるんだね。



わくわく問題（教科横断型問題）【5・6年生】

- ・文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの問題です。
- ・答えは、記号を選んだり、文章をかいたり、図をぬったり、絵をかいたりします。答えが一つでないものもあります。

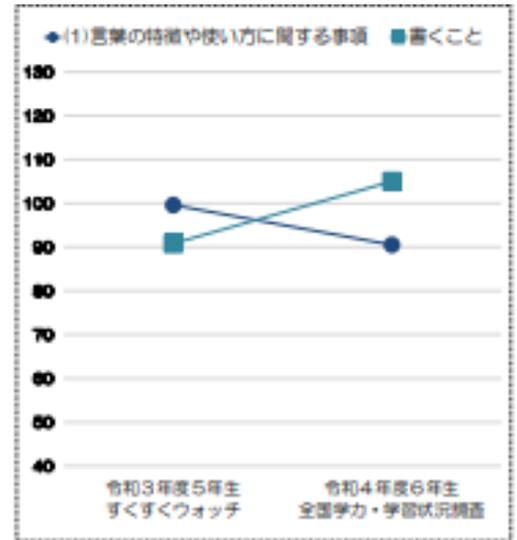
大阪府教育委員会 保護者リーフレットより

国語、算数という1つの教科でなく、いろいろな教科にまたがった総合的な問題なんだね。



学力変化ウォッチシート

学習指導要領の領域等		あなたの結果	
		令和3年度5年生 すくすくウォッチ	令和4年度6年生 全国学力・学習状況調査
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	99.6	90.5
思考力、 判断力、 表現力等	書くこと	90.8	105.0



学力変化ウォッチシートがあり、個人の5年生時と6年生時の**学力**の変化を見とることができるよ。



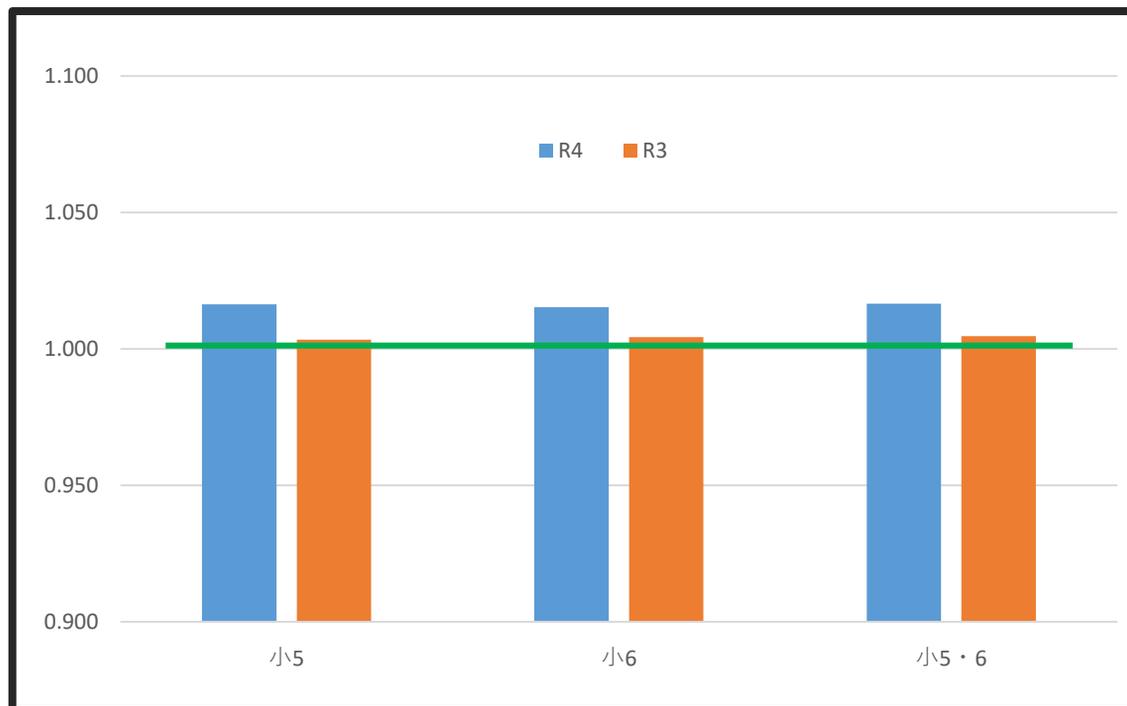
令和4年度 すくすくウォッチの結果<わくわく問題 概要>

平均正答率

教科	枚方市	大阪府
小5	60.2	60.0
小6	69.3	69.0
小5・6	64.8	64.5

結果の推移 (対大阪府比)

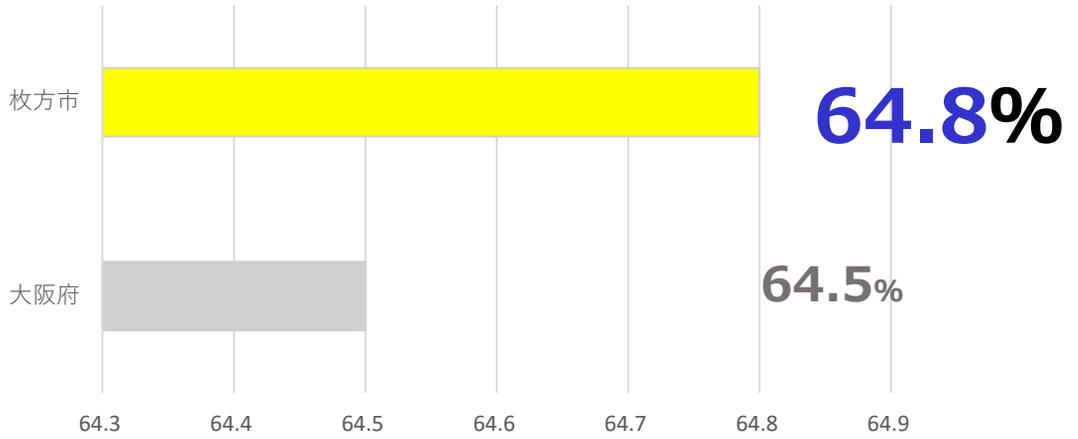
わくわく問題



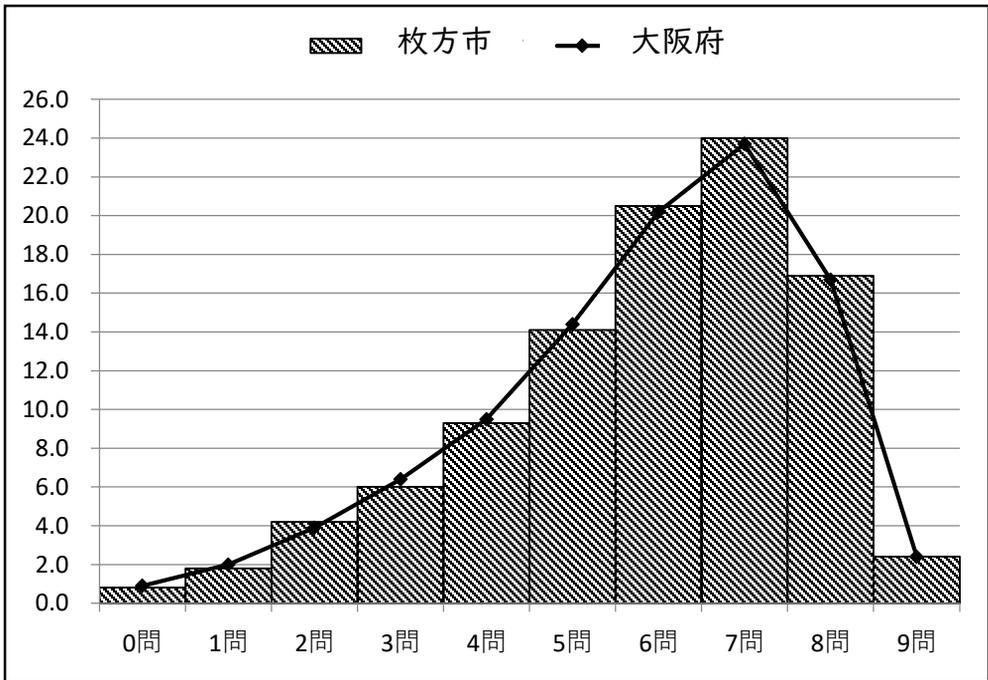
昨年・今年ともにわくわく問題については、大阪府の平均をわずかに上回っている。

令和4年度 すくすくウォッチの結果<わくわく問題>

正答率



正答数分布



分類・区分別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	大阪府
	全体	9	64.8	64.5
観点	A 図や表, グラフ, 短い文章, 会話文等の内容を関連付けて, 正しくとらえる。	3	52.9	52.4
	B 図や表, グラフ, 短い文章, 会話文等の内容を関連付けて, それをもとに論理的に考える。	2	69.2	68.5
	C 図や表, グラフ, 短い文章, 会話文等の内容を関連付けて, それをもとに新たな課題を考える。	2	79.3	79.5
	D 図や表, グラフ, 短い文章, 会話文等の内容を関連付けて, それをもとに自分の考えをまとめ, 伝える。	4	68.7	68.1
	E 興味・関心のある事からについて, 意欲的に工夫して相手に伝える。	1	80.4	82.6
問題をとらえる	文章から読み取る	7	63.0	62.2
	会話から読み取る	4	68.7	68.4
	図や表から読み取る	8	62.9	62.3
伝える	資料の情報を整理して伝える	6	65.5	65.0
	自身で考えたことを伝える	4	71.6	71.7
	理由や根拠を明確にして伝える	3	59.5	58.8
問題形式	選択	2	47.1	46.5
	図表	1	69.4	68.4
	記述	6	70.0	69.9

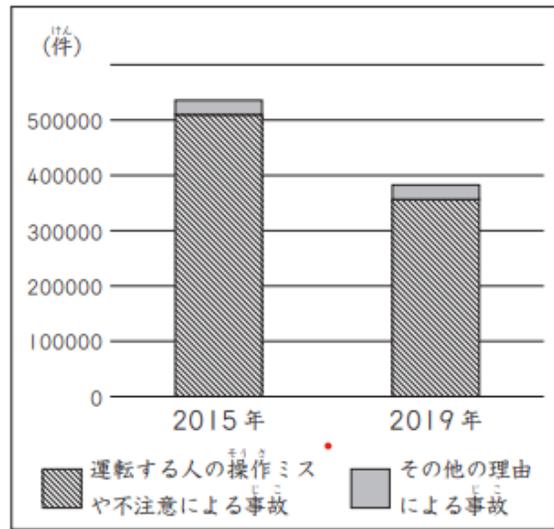
令和4年度 すくすくウォッチの結果<わくわく問題>

成果があった設問

	正答率
枚方市	46.8
大阪府	44.5

- (3) たかしさんは、「自動で動く車」の開発がなぜ進められているのかを調べ、次の資料3を見つけました。

資料3 【日本で起きた交通事故の数】



(警察庁交通局の資料により作成)



たかし

資料1、資料2、資料3から考えると、日本で「自動で動く車」が増えていけば、交通事故の数がさらに減るかもしれないな。

- 問い たかしさんが、____部のように考えたわけを、資料1、資料2、資料3をもとに考えて書きましょう。

大問2 問3

(正答例)

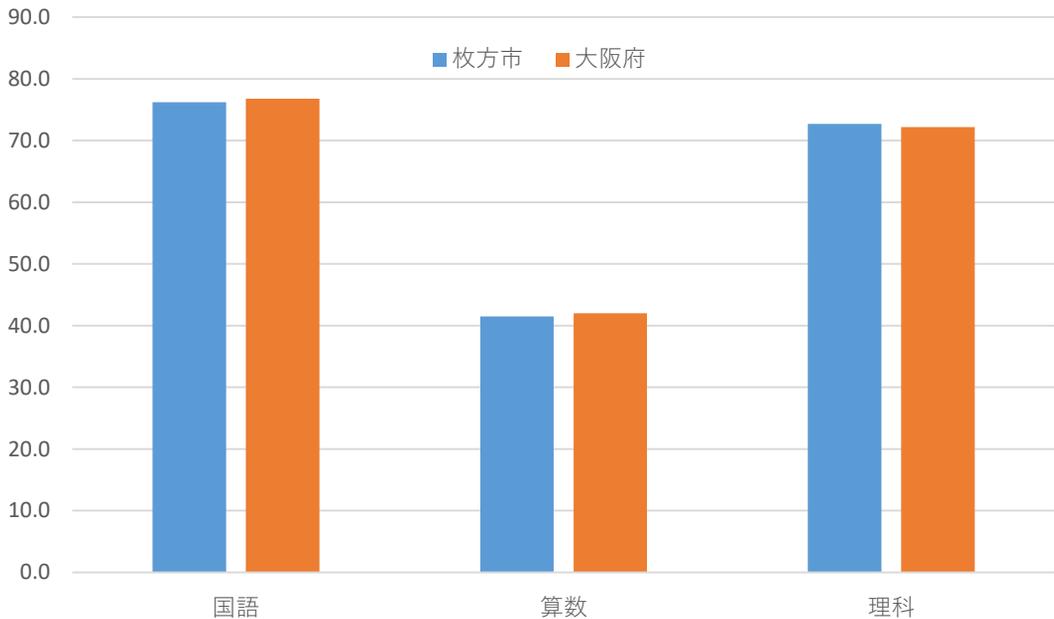
2015年から2019年で「自動で動く車」は増えていて、交通事故の件数は減っている。「自動で動く車」が増えると人による操作ミスが減ると思うので、「自動で動く車」が増えると交通事故が減ると考えたから。

令和4年度 すくすくウォッチの結果<国語・算数・理科>

平均正答率

小5	枚方市	大阪府
国語	76.2	76.8
算数	41.5	42.0
理科	72.7	72.2

結果の推移 (対大阪比)



理科においては、大阪府の平均をわずかに上回っている。
国語・算数においては大阪府の平均をわずかに下回っている。

枚方市が大切にしている5つのCの視点（非認知能力の育成）

枚方市では、学習指導要領が示す、これからの子どもたちに必要な資質・能力を育成するために、Cから始まる5つの視点を大切にします。1人1台のタブレット端末を活用し、5つのCの視点を意識し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身につけていきます。

Challenge チャレンジ 挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組めます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

問題発見
問題解決



家庭学習
学習習慣

粘り強さ
積極性

Communication コミュニケーション 意思伝達

相手の立場を意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

発表
プレゼン
テーション



遠隔授業
オンライン

対話
議論
意見交流

Collaboration コラボレーション 協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考えを持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

多様な
考えの尊重



連携
協働制作

Creativity クリエイティビティ 創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

創造



表現
制作

アイデア
の共有

Critical thinking クリティカルシンキング 思考・判断

物事を多面的な視点からとらえながら、調べた内容や相手の意見などの情報を正しく判断するために、その理由や事実に矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。

批判的
思考



情報分析
判断

枚方版ICT教育モデル

【<https://onl.tw/Zw76PeS>】



児童調査の結果

※6年生の対大阪府平均を表しています。



6年生の大阪府平均との比較

- ★特に望ましい状況にある項目（大阪府比+10P以上）
- :望ましい状況にある項目（大阪府比+3P以上）
- ▲:課題と考えられる項目（大阪府比-3P以上）

【自己調整力に関する項目】

- 頑張り屋**である。
- 自分には**よいところ**がある。

※自己調整力:自らの学習過程を客観的にとらえ、うまくいかなかったところはどこかを振り返り、自らの学びをコントロールする力

【協働に関する項目】



- あなたの学級は、授業中**まちがっても笑われない**。
- 話し合う場面で**自分の考えを深めたり、広げたり**している。
- 先生や友だちが話していることで、**大事だと思ったこと**をノート等**に書いている**。
- あなたの学級では友だちの**よいところを互いに認め合える**。
- あなたの学級は、**協力的**である。
- 話し合いをするとき、**自分の意見と他の人の意見を比べている**。

※協働:同じ目的のために、対等な立場で共に働くこと

次のページに
続くよ。



※6年生の対大阪府平均を表しています。



6年生の大阪府平均との比較

- ★特に望ましい状況にある項目 (大阪府比+10P以上)
- :望ましい状況にある項目 (大阪府比+3P以上)
- ▲:課題と考えられる項目 (大阪府比-3P以上)

【授業に関する項目】

- その時間に学んだことについて、**ふり返し**をしている。
- その時間の**めあて**を意識して学習している。
- 自分の**考え**をノート等**に書いている**。
- 文章を読むとき、どこが**大事**なところか**考えながら読んでいる**。
- 休み時間と授業時間との**気持ちの切りかえ**ができる。



【タブレットに関する項目】

- ★授業で、**コンピュータやタブレット**を使って、自分の考えを書きこんだり、**友達と意見を交流**したりすることはどれくらいありますか
- 授業で、**コンピュータやタブレット**を使って、**必要な情報**を調べることはどれくらいありますか
- 授業で、**コンピュータやタブレット**を使って、自分にあつた問題やドリル等に取り組むことは どれくらいありますか
- わからないことや知りたいことがあつたとき、**本やインターネット**等で調べている

※同じ児童の1年間での伸びを表しています。



6年生の、5年生時との比較

★特に望ましい状況にある項目（5年生時比+10P以上）

○:望ましい状況にある項目（5年生時比+3P以上）

▲:課題と考えられる項目（5年生時比-3P以上）

【自己調整力に関する項目】

○前にやってうまくいったやり方を試している。

○課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている。

○頑張り屋である。

○何事にも一生けんめい努力する。

▲終わるまで何か月もかかる計画に、最後までずっと興味をもち続けるのは難しい。

▲将来の夢や目標を持っている。

▲新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる。

▲物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう。

【コミュニケーション能力に関する項目】



★自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している。

○人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる。

○人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する。

○まわりに困っている人がいると、早く解決するといいなあと思う。

次のページに
続くよ。



※同じ児童の1年間での伸びを表しています。



6年生の、5年生時との比較

★特に望ましい状況にある項目（5年生時比+10P以上）

○:望ましい状況にある項目（5年生時比+3P以上）

▲:課題と考えられる項目（5年生時比-3P以上）

【協働に関する項目】

- 話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている。
- 先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等に書いている。
- 話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている。
- 話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている。

【授業に関する項目】

- 休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる。
- その時間に学んだことについて、ふり返りをしている。
- 読んでいてわからなくなったときは、もう一度読み直してみる。
- その時間のめあてを意識して学習している。
- 自分の考えをノート等に書いている。
- 文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる。
- 黒板に書かれたことをノート等に写している。



調査の目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とします。



答えは、 イ

「自動で動く車」の生産台数は、「運転を支援する車」と「自動運転車」を合わせた台数なので、

「『自動で動く車』の生産台数は、2019年と比べると2030年は304万台増えることが予想される。」

でした！